ルの向上を促してまいります。

観光の振興

観光の振興につきましては、平泉観光協会と連携し、観光客の受け入れ態勢の構築や国内外からの誘客に向けた誘致事業を積極的に展開してまいります。

観光客の受け入れ態勢につきましては、平泉観光案内所や平泉駅なか案内所、道の駅観光ガイダンス施設の案内業務の充実を図り、観光ゲートウエイ機能を果たせるよう関係機関と連携してまいります。

二次交通の充実につきましては、東北の空の玄関口である花巻空港、仙台空港との連携強化と併せ、受け入れのための仙台空港・松島・平泉・花巻線のバス運行と併せ、巡回バスやレンタサイクルなどの効果的な運用を通し、町内への回遊を促してまいります。

また、平成30年度に策定した平泉町ウオーキングトレイル魅力化計画に基づき、ウオーキングルートの周知拡大を図るとともに、伝統工芸や仏教などの体験事業の紹介を通し、滞在型観光に向けた取り組み強化を図ってまいります。

さらに、国の施策を背景として外国人観光客が過去最高の入込数を記録し、今後ますます増加傾向にあることから、東北観光復興対策交付金を活用した事業展開を図りながら、積極的な外国人観光客誘致を行ってまいります。

町内にあるウオーキングトレイルの現地調査

外国人の受け入れ態勢につきましては、商工会と連携してキャッシュレス決済環境を整えるとともに、国際交流員を活用した各店舗や観光施設における受け入れ体制の構築や、多言語での情報発信にも引き続き取り組んでまいります。

昨年設立された一般社団法人世界遺産平泉・一関ＤＭＯが進める広域連携事業につきましては、観光地経営の視点に立った観光地づくりの舵取りの役割を担えるよう支援を継続するとともに、閑散期対策などの新たな事業実施体制の構築についても、一関市と連携しながら取り組んでまいります。

上水道・下水道の整備

水道事業につきましては、引き続き配水管と鉛製給水管の布設替え工事を実施するとともに、浄水場の送水ポンプ、機械設備、水道施設監視システムの更新を行ってまいります。

また、有収率の向上、事務経費および維持管理費の縮減などに取り組み、安全・安心な水の安定供給に努めるとともに、計画的に水道施設の更新を行い、健全経営を維持推進するため、平成30年度に策定した水道事業基本計画（新水道ビジョン）に基づき、事業を実施してまいります。

下水道事業につきましては、平成28年度に策定した汚水処理施設整備構想（アクションプラン）に基づいて、引き続き整備してまいります。

農業集落排水事業については、施設の適切な維持管理、経費の縮減に努めてまいります。

浄化槽設置整備事業につきましては、引き続き支援を実施してまいります。

また、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計の公営企業会計適用につきましては、平成32年度からの適用を目標に事務を推進し、併せて下水道事業などの持続性を確保するため、広域化・共同化について検討を進めてまいります。

道路交通網の整備

道路網の整備につきましては、スマートインターチェンジ整備事業関連として町道佐野原祇園線、町道祇園線については国の事業である小金沢川の改修に併せて小金沢橋の改築を実施し、町道ねずみ沢線についても継続し整備してまいります。

また、県道平泉停車場中尊寺線の早期完成を図るため、引き続き県に協力してまいります。

整備が進む県道平泉停車場中尊寺線

住宅・市街地の整備

住宅・市街地の整備につきましては、木造住宅耐震診断事業、木造住宅耐震改修事業および東日本大震災に伴う生活再建住宅支援事業を継続して実施してまいります。

空き家対策につきましては、空家等対策計画に基づき、引き続き空家などの調査を進めるとともに、特定空家などに対処してまいります。

公園・緑地・水辺の整備

県道平泉停車場中尊寺線の道路整備に併せて県が整備する小公園につきましては、早期に完成するように要望してまいります。

水辺プラザにつきましては、町民農園などが多くの町民に利用され、にぎわいが創出されるよう、適切な維持管理に努めてまいります。

景観の保全・整備

景観の保全・整備につきましては、豊かな自然と美しい景観を守り、次世代へ継承するため、道路、河川などの環境整備を関係機関ならびに町民の協力を得ながら、引き続き実施してまいります。

また、平泉の自然と歴史を生かしたまちづくり景観条例と平泉町屋外広告物条例の周知を図り、官民一体となって世界文化遺産のまちにふさわしい景観の保持に努めてまいります。

さらに、屋外広告物の改修への補助につきましては、引き続き実施し、和風建築への助成制度について検討するなどして、良好な景観形成のために取り組んでまいります。

国際リニアコライダーの誘致

国際リニアコライダーの誘致につきましては、関係機関と連携を図りながら情報収集・意見交換を行い、普及啓発に努め、近隣市町と共に積極的に取り組んでまいります。

安全・安心なまちづくり

地域防災力の充実につきましては、一関西消防署平泉分署配備の消防車両を更新し、常備消防の機能強化を図るとともに、消防団員の確保や自主防災組織の育成強化など地域防災力の向上に努め、地域の安全・安心の充実に向けて取り組んでまいります。

交通安全対策につきましては、警察や交通指導隊、交通安全母の会、交通安全協会などの関係機関と連携を図りながら、年間を通じた季節ごとの交通安全運動をはじめ、日々の街頭指導および広報・啓発活動、交通安全教室を実施し、高齢運転者の増加に伴う事故防止や死亡事故ゼロ日の継続など、交通事故のない安全な町の実現に向けて取り組んでまいります。

災害時における要援護者の支援につきましては、避難行動要支援者避難支援計画に基づいて、民生委員、行政区など関係機関の理解と協力を得ながら、要援護者の名簿登録の更新と見守り支援と併せ、個別支援計画の策定に努めてまいります。

また、福祉避難所につきましては、社会福祉法人などとの協定を踏まえて災害時の避難対応に備えてまいります。

情報セキュリティ対策につきましては、町が保有する情報資産の機密性、完全性および可用性を維持するため、町セキュリティポリシーに基づき、実施してまいります。

住民情報系システム（住基、税、福祉）につきましては、一関市、陸前高田市、釜石市、住田町、一関地区広域行政組合と当町の6団体で、自治体クラウド協定を締結したことにより、情報システムのコスト削減、情報セキュリティ水準の向上、災害時の業務継続に努めてまいります。

いわて南自治体クラウドのデータセンター

世界文化遺産の保存と活用

世界遺産に登録された平泉の文化遺産につきましては、多言語ＶＲ（復元立体映像）や多言語説明板、ホームページを効果的に活用して、歴史的・文化的価値と魅力を国内外に発信してまいります。

また、「平泉世界遺産の日」の記念事業に取り組み、平泉の価値の理解、理念の普及、後世へ引き継ぐ意識の醸成を推進してまいります。

遺跡調査・史跡整備につきましては、考古学的遺跡を保護し、計画に基づいて無量光院跡の庭園整備を進め、中尊寺大池伽藍跡や観自在王院跡の内容確認調査を継続してまいります。

世界遺産拡張登録につきましては、岩手県、一関市、奥州市と協力して、柳之御所遺跡および達谷窟などの関連資産の調査研究や機運醸成に取り組んでまいります。

教育の振興

教育の振興につきましては、総合教育会議を開催するとともに、これまで3年間平泉の教育の指針としてきた平泉町教育大綱を改訂し、一人ひとりが輝き幸せを実感できるまちの実現を目指してまいります。

そのため、学校・家庭・地域・行政の連携の下、子どもたちの多様な個性と能力を伸ばし、社会を担う人材育成と世代を超えて学び続ける平泉学の取り組みを中心とし、教育の推進にさらに努めてまいります。

また、町民が生涯にわたって自発的・主体的に学習活動を継続することができる環境の確立を目指し、老朽化した公民館や図書館などを一体化し、新たな生涯学習・人づくりの拠点となる新社会教育施設の建設に向け、事業を推進してまいります。

おわりに―

当町を取り巻く社会情勢は、厳しいものがありますが、将来世代のためにもしっかりとした施策を打ち出し、町民総参加のまちづくりの仕組みを充実させていく必要があります。

平成31年度は、地域懇談会を開催し、町政をより身近なものにしてまいります。この直接対話こそが、持続できる平泉を創るものだと確信しておりますので、今後もさまざまなご意見などをお寄せください。

今回、提案いたしました平成31年度平泉町一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算ならびにその他の議案につきまして、議員各位のご理解とご協力、そして町民の皆さま方の町政への参画を心からお願い申し上げまして、私の施政方針の表明といたします。

平成31年3月5日

平泉町長　青木　幸保